

あれYA!これYA!なんYA!ティーンズ通信

2026



冬の千特集 今年の干支馬の本

*戦火の馬 マイケル・モーパゴ Nモパ 評論社

戦争の最前線に送られた馬は、飼い主の少年のもとに帰るために戦場を駆け抜ける。映画の原作になった本。

*ケルトの白馬 ローズマリー・サトクリフ Nサト ほるぷ出版

イギリスにある巨大な白馬の地上絵はなぜ、どのようにして描かれたのか! 古代ケルトの時代の物語。

*ブライアーヒルの秘密の馬 メガン・シェパード Nシエ 小峰書店

鏡の向こうの世界が見える少女は、ある日、傷ついたペガサスが病院の庭にいるのが見えた。守ってほしいと乞われるが・・・。

*馬と生きる 澄川 嘉彦 38 福音館書店

遠野では、今でも人と馬が生活を共にする習慣がある。危険で過酷な仕事は互いの信頼がなによりも大事なことで・・・。

*にしきのなかの馬 やえがし なおこ E白二 童心社

いつも一緒だった大切な馬が売られてしまった。探す決意をした時、馬は娘にある願いを伝えた。はたして無事に帰ってきてくれるのか。



すみきちのちょっとひとこと



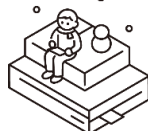
あっという間に新しい年になりました。年々時間が早く過ぎていくのは、自分が歳老いていくからでしょうか。

若かりし頃は、1日がとても長く感じたものでしたが時間というものは残酷に過ぎていくものですね。ティーンズの皆さんはどんな風に感じていますか? 今ある時間を有意義に過ごせていますか? そのうちにやろうと思って後回しにしていますか?

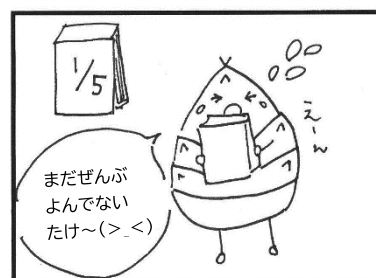
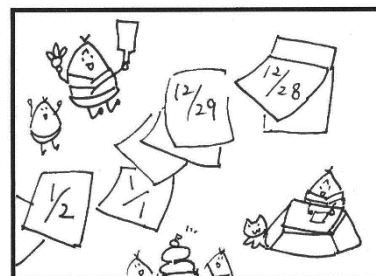
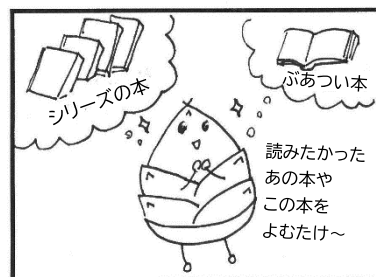
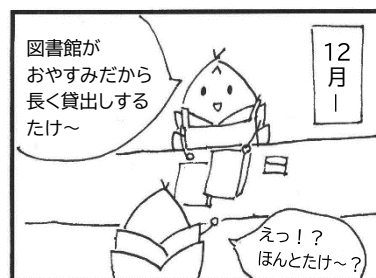
「今やろうと思ってたのに～」と言わなくてすむように今できる事は、今やっておきましょう。冬休みの宿題はもう終わりましたか? まだの人! いつやるの! 今でしょ。ですよ(笑)

毎回テーマに沿った本を紹介しています。

新年が明けたということで、今年の干支「馬」にちなんだ本です。



たけのこの日の常





職業体験の中学生おすすめの本



タイトル: マジックツリーハウス

著者: メアリー・ポープ・オズボーン 出版社: 株式会社KADOKAWA

おすすめポイント

シリーズがながい

なん回読んでもあきない

主人公は3人きょうだい3人いてお国にいてお国をいけける

タイトル: 木乃三族の少年

著者: ミシェル・ペイヴァー 出版社: 評論社

おすすめポイント

主人公は3人とウル7の少年とウル7の少年をヒントに1000年
経って、きずなが深くなくていくのが見どころです

タイトル: くりいむパニック

著者: 濱野 京子 出版社: くもん出版

おすすめポイント

小学4年生の香里が、父の仕事の都合で

家に来た同い年の親戚の末果と、友情を

築いていく物語です。

タイトル: ケモノたちがはしる道

著者: 黒川 裕子 出版社: 静山社

おすすめポイント

都会育ちでゲーム好きの中学1年生の少女、千里が

熊本で祖父のもとでわな猟を体験する。

命について深く考えられる物語です。

タイトル: JC 紫式部

著者: 石崎 洋司 出版社: 講談社

おすすめポイント

平安時代に流行していたものや、歴史、行事や

習慣などを知らなくて、おもしろいです。

平安時代についてもっと知りたいという気持ちになります。

タイトル: モモ

著者: ミハエル・エンデ 出版社: 岩波書店

おすすめポイント

「モモ」という女の子が、時間どうぼうの「灰色の
男たち」から盗まれた時間をとりかえようと奮闘
する物語です。時間とは何かを考えさせられる
作品です。

イラストも職業体験に来てくれた中学生が描いてくれたよ！
次回の YA 通信にもイラストを載せるから楽しみにしていてね♪

